

# ふれあいの橋の会

REPORT さかい

訪問日 2025年12月18日(木) 10:00 ~ 11:30

訪問先 デイサービスセンターさかい幸朋苑 境港市誠道町 2083

認知症対応型デイサービスセンターさかい幸朋苑

出席者 【委員】 川口 昭一、植田 建造

【さかいエリア】 濱田 壮 (さかいエリア総合施設長)

落合 誠 (デイサービスセンターさかい幸朋苑 管理者・主任)

松村 たまみ (認知症対応型デイサービスセンター管理者・主任)

【法人本部】 荒井 祐二 (監事)



Sakai Area Report

**荒井監事**：本日の「ふれあいの橋の会」は、1989年10月に開設したデイサービスセンターさかい幸朋苑の一般型と認知症対応型の2事業所を見学していただきます。はじめに、境港市の高齢者実態、並びにさかいエリアの現況を濱田総合施設長から報告ください。委員の皆さんには、配布しています評価表に基づき、施設内外を点検し、具体的な提言をお願いします。

**濱田総合**：境港市の60歳以上の高齢者は、すでに減少傾向にあります。境港市の介護認定者数は、現在2300人ですが、65歳以上が75歳になる2040年には600人増加すると予測されています。生産年齢人口は年々減少し、介護分野の担い手不足は益々深刻な状況になりそうです。外国人に対する依存度が高くなるとともに、AIやICTの活用が重要視されます。境港市では、地域密着型サービスの需要が伸びており、特に小規模多機能のデイハウスの利用が増加しています。通所・在宅系サービスは、11月から入院者が増加傾向にあり、収支に影響しています。入浴サービスの希望が多いのも境港市の特色です。機械浴を有する事業所が少なく、こほうえんの利用が増えています。①



## ■施設の現況・特色

**落合管理者**：一般型のデイサービスセンターは、44名が定員ですが、実際の稼働定員は32名で運営しています。登録者は、95名で入院者があるため、現在90名です。内訳は男性24名、女性66名。平均介護度2.1、要介護3以上が47、3%で、中重度の人が多いと思います。100歳以上の人も4人いらっしゃいますが、元気に利用されています。利用者の9割以上が入浴サービスを希望され、機械浴の利用希望もありますので、公平な利用となるよう調整しています。11月は紅葉狩りで外出、12月は餅つき大会、鍋パーティなど季節に応じた催しを実施しています。「また来るよ」「今日も楽しかった」と言っていただけよう職員一丸となって日々工夫をしています。

**松村管理者**：認知症対応型のデイサービスセンターは、市内在住で認知症の診断がついた人が対象です。現在の登録者数は25名、一日の利用定員は12名、平均介護度2.2です。認知症状がありますので、家族の負担軽減に繋がっているかと思います。脳トレやレクリエーションを実施。手先を使った創作活動や職員との調理、ボールを使った下肢運動、季節に合わせてドライブで紅葉狩りなど、楽しく過ごしていただくよう工夫しています。現在、来年の干支の壁画を制作中です。施設の利用が伝わるよう「ファミリー通信」を発行したり、インスタグラムでお知らせをしています。



**荒井監事**：本年度のさかいエリアの収支状況を見ますと、前年度と比較してデイサービスセンターの収入実績が減少傾向にあります。他法人の事業所と競合するなど、影響もあるかと推測していますが、現状はいかがでしょうか。

**濱田総合**：長年実施してきた「配食サービス」を10月末で終了したことや、一日の稼働定員を35名から32名に変更したことも影響しているかと思います。他法人の事業所は、リハビリ特化型のデイサービスセンターがありますが、競合する面は少ないと思います。大型ショッピングセンターに9月、短時間デイサービスセンターが開設されましたが、影響は少ないと思います。職員には、介護度が変化するとどうなるのか、人件費や光熱水費などの上昇でどのような影響を受けるのか、様々な角度から考え、経営するよう話しています。

**川口委員**：他法人が運営するデイサービスセンターは、リハビリ中心ですから影響はないと思います。境港市では、地域包括支援センターを中心に、フレイル予防事業を実施していますが、徹底するには予算を増やす必要があると感じています。国・県・市町村がもっと本気にならないと効果が出ないと思います。

**植田委員**：私は公民館長をしており、地域包括支援センターが主催する事業に多く参加しています。介護予防を徹底するには、本当に大変だと思います。

**濱田総合**：予防事業は、地域包括支援センターが中心になり、精力的に事業展開していますが、住民の意識向上、住民の力が大事だと思っています。引き続き、ご協力をお願いします。 ②



### ■施設内外の点検・提言

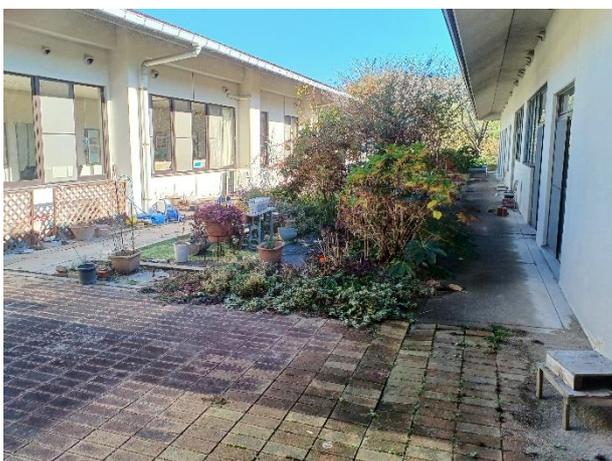
**荒井監事**：施設内を見学していただきました。配布しました評価表（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④その他）のチェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください。

**川口委員**：評価表を基に点検しました。施設全般に掃除が行き届いており、掲示物も整理されていました。クリスマスムードを高めるツリーもきれいに飾り付けがされていました。デイサービスセンターの廊下で、入浴サービスを受けた人がドライヤーで髪を乾かしていただきますが、スペースが狭く感じました。もう少しゆったりした場所を検討されたらどうでしょうか。

**植田委員**：掲示板には、利用者の作品などが展示されており、楽しく見せてもらいました。認知症対応型では、来年の干支の馬をモチーフにした壁画づくりが進められていました。職員と一緒に取り組むことに意義があると思います。一般型のデイサービスセンターでは、以前に比べ男性の利用が増えており、嬉しく思いました。以前は、男性が少なく片隅に座っておられました。103歳の利用者が2人いらっしゃいました。耳も良く聞こえ、会話が弾みました。皆さんが穏やかに過ごされ、職員が優しく接している姿が印象的でした。

**川口委員**：草花が枯れる時期で、中庭の除草状況が判断できませんが、春になったらきれいな花が咲くものと期待したいと思います。

**荒井監事**：特養や老健、グループホームなど施設系の事業所では、職員の休憩室を設けている所が多いですが、デイサービス、デイケアなどの通所系の事業所は少ないと思います。現状はどうですか。



**松村管理者**：認知症対応型は、畳のスペースがあり、職員の休憩場所として利用しています。

**落合管理者**：職員は、自家用車で休憩する人が多いようです。

**濱田総合**：スマホでメールを確認する時代で、一人のほうがいいようです。

**川口委員**：職員の皆さんは気を配ったケアをされていますので、息抜きをする場所が必要だと思います。  
休憩スペースを確保することは必要だと思います。

**荒井監事**：旧誠道小学校跡施設は、ガイナレ鳥取のアカデミー組織（高校・中学年代チーム）の活動拠点として「ガイナレ誠道アカデミー」が使用しています。校舎内をアカデミー生の寄宿舍や市内の高校に地域外から通学する生徒の宿舎に利用されています。体育館が解体され、グラウンドも芝生の整備が進められています。その後の動きがありましたら報告してください。

**濱田総合**：寄宿舍として利用する高校生も生活に慣れたと聞きます。今後、グラウンドも地域に開放されることになるかと思います。交流事業が実施され、子どもからお年寄りまでが集う場所になることを期待しています。

**植田委員**：先日、こうほうえんの忘年会に招待され参加しました。外国人の特定技能実習生の皆さんとも交流しましたが、皆さんが明るく、一生懸命日本語で会話されようとしており感激しました。

**濱田総合**：さかいエリアには、19～27歳の特定技能実習生が配属されていますが、皆さんが真面目で利用者からの評判もいいです。本当に助かっています。

本日は、貴重なご提言をいただき有難うございました。今後の運営に生かしてまいります。

**荒井監事**：次回は、**2026年1月15日（木）10：00～**  
**デイハウスわたり、ピスターレわたり** です。



さかい幸朋苑



旧 誠道小学校